



# 議会だより



市ガス製造所

10月に  
市ガス事業を民間譲渡へ

市ガスの廃止関係条例を可決

## 主 な 内 容

### 3月定例会

18年度当初予算決まる

総額 549億8,961万円

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 一般会計 | 273億9,800万円(前年度比△13.3%) |
| 特別会計 | 247億6,131万円(前年度比△10.0%) |
| 企業会計 | 28億3,030万円(前年度比△ 3.7%)  |

|               |       |
|---------------|-------|
| 予算審議・条例審議     | 2～3頁  |
| 代表質問          |       |
| 6会派7人が登壇      | 4～6頁  |
| 一般質問          |       |
| 3月定例会では19人が登壇 | 7～10頁 |
| 請願・人事など       | 11頁   |
| 委員会審査など       | 12頁   |

# 平成18年 3月 定例会

## 3月定例会の概要

平成18年第2回越前市議会定例会は、3月1日から24日までの24日間にわたって開かれました。

この定例会では、市長から当初予算案16件、補正予算案9件、平成17年度各会計決算認定案22件（旧武生市・旧今立町分）、条例案18件、一般議案10件、人事案4件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、いずれも可決・認定しました。

また、市長の施政方針に対する代表質問には6人会派7人が立ち、一般質問には19人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

## 予算審議

※（ ）内は質疑をした議員名

### ■道路除雪対策事業

4564万円

（関正議員）

**問** 今年の大雪での大きな被害による暗いイメージを取り除くためにどうするのか。また、狭い道路や空き家の多い地区での除雪で苦情が多かったが、その対策は。

**答** 北陸自動車道や国道が渋滞したことに対しては、国や県選出の国会議員及び関係団体に対して除雪体制確保に強い要望をしてきた。狭い道路の除雪課題をどう克服するか検討させていただきたい。

### ■児童健全育成事業費

学童保育費 180万円

（北野議員）

**問** 児童館の学童受け入れは3年生までだが、4年生以降の受け入れニーズもあると思うが把握しているか。

**答** 施設の規模、人員体制を配慮しながら、保護者と協議して対応している。

### ■道路橋梁総務費

1億6648万円

（長谷川・金子議員）

**問** 県道の帆山王子保停車場線、中小屋武生線の開通はいつごろの予定か。なかなか進まない理由は何か。

**答** 県土木事務所で確認したところ、地権者との話が付かず遅れている。一生懸命やっているの、理解してほしい。

### ■市民バス運行事業

4702万円

（安立・前田議員）

**問** 市民バス、福祉バスとも市民のためのバスだが、別々の予算となっている理由は。

**答** 福祉路線バス利用運行事業（安立・前田議員）

**問** 市民バスは誰もが利用でき、福祉バスは65歳以上の方を対象としているため、予算だけを分けている。

**答** 合併によって、今立のコミュニティバスが無料から100円になったことはサーピスの低下ではないか。

**答** 合併を機会に、今立から武生へ向かう路線が100円

## 条例審議

※（ ）内は質疑をした議員名

### ■市職員の退職手当に関する条例の一部改正について

（玉村・中西議員）

**問** 在職中の貢献度に応じた調整額の支給や退職手当の支給構造の見直しは、職員にどのように影響するのか。成績主義にはなじまない仕事もあるのではないか。

**答** 公務員の給与改革を背景としており、「国や県の改正に伴うもので、これまでの年功序列型から貢献度重視型となり、新しい評価制度を考えている。

### ■市幼稚園入園料保育料徴収条例の一部改正について

（前田議員）

**問** 合併に基づく料金の統一ということだが、入園料や保育料の実質的な値上げではないか。

**答** 合併協議の中で、武生市の例によるとか、統一することで協議されてきたが、国の

財政計画に基づき改定した。今まで今立の人は、入園料がかかっていたので負担増となるが、保育料については安くなっている。

### ■市国民健康保険条例の制定について

（玉川・玉村・中西議員）

**問** 合併協議会では統一すると決められていたはずだが、かなりの値上げである。なぜ今値上げするのか。一般会計から繰り入れてもいいから、時期は遅らせないか。

**答** 国保財政はかなり厳しい運営状況にある。審議会からも健全運営の答申が出される中、長期的な展望に立ち、引き上げとなった。一般会計の繰り入れは、他の保険加入者との均衡も考慮すべきで、基金についても今年は2億8000万円取り崩している。

### ■市介護保険条例の制定について

（玉村議員）

**問** 介護保険料についても、今回の改正で引き上げられて

で乗れるようになって喜ばれているという声も聞いており、回数も4月から2回に増やしている。

■新図書館建設事業

6億5940万円

(中西議員)

8月1日に新図書館はオープンするが、現在の図書館などの活用をどうするのか。

市全体での施設の有効活用を、行政経営刷新チームの中で考えているところで、財政構造改革プログラムで方向性を示したい。

■保健衛生総務費地域医療活動支援事業のうち

庁用備品費 94万円

(中西・関利議員)

緊急医療器具AED(心臓に対する自動体外式除細動器)の購入による配置計画は。

今回は、3台を購入して湯楽里、福祉健康センター、社会福祉センターに配備する。別に寄付される1台は福祉健康センターでの貸出しを考えている。今後、計画的に整備を進めていく。

■債務負担行為債務保証限度額

17億700万円

(山崎議員)

国は新年度より土地開発公社等への債務負担について一定額を入れた実質公債比率を導入するが、今年度の予算編成に当たって実質公債比率を考慮したのか。

できるだけ公債比率を下げていきたいが、開発公社については、先行取得事業をするにあたり一定の資金確保をしなければいけないため、長期的な市の政策の中で債務負担を組んでいく。

■教育費中学校費

2億9771万円

(伊藤康議員)

今立の南越中学校で毎年生徒の海外派遣を行ってきた。今回の予算に計上されていないが、取りやめたのか。

越前市全体の均衡を考えて、既存の予算の中で検討したい。

■土木費除雪対策費

自動車購入費553万円

(玉川議員)

小型除雪機の購入は、ど

のようなものを購入するか。歩道除雪用のロータリーを予定している。

■高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業費6960万円

(玉川議員)

この事業に国の地域住宅交付金を見込んでいるが、この制度を利用して、既存の耐用年数を過ぎた市営住宅や、木造の古い住宅の建て替えをするつもりがあるのか。

この事業については、地域住宅計画の策定が義務付けられていて、高齢者向け優良賃貸住宅供給事業や既存の住宅改修事業も対象になるので、今後、十分活用して対応していきたい。

■日野川地区工業用水道建設負担金事業 8500万円

(中西議員)

県と市が負担する形で、今後30年にわたって償還していくとのことだが、市が負担する額はいくらか。

平成17年度から約38年間で23億6000万円を見込んでいる。

いるが、低所得者層への配慮はされているのか。

今回保険料を6段階から7段階にし、低所得の方の負担を少なくした。

■市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について

(川崎・玉川議員)

市における国民保護計画策定の具体的なスケジュールは。また、有事のときの、対策本部職員の役割は。

4月に協議会の委員を委嘱、9月に協議会を開催して年度内には計画書を作成したい。職員の役割は計画書の中で明示する予定である。

■市営住宅条例の一部改正について

(佐々木議員)

市営住宅の入居が公募によらないでできる場合とはどのようなときか。入居の判断基準は。

国の法改正により、入居者の世帯構成の状況変化や障害者の利便性を考慮して規制

緩和がされた。入居にあたっての確かな資格判断が行えるように早急に判断基準を作成する。

■市ガス事業、水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正等について

(中西・前田修議員)

ガス事業の民営化で、今後5年間料金の値上げはしないことを確認しているか。今後、市から役員の派遣や資本参加があるとのことだが、経営が赤字になっても資金援助はしないと理解してよいか。

また、35億円という譲渡価格はこれまでに投入した資本額に見合う価格になっているのか。民間に変わることによって保安面は大丈夫か。

5年間は料金を引き上げないことを確認している。役員の派遣等については、今後協議することになっており、今後の増資や資金援助は一切考えていない。価格は投資額に見合うものであり、保安面でも監督官庁の監査もあり安全だと考えている。

# 代表 質問

未来 小形善信・川崎悟司

新世紀 佐々木 富基



空洞化する武生地区の中心市街地(市役所本庁舎南側)

### ■新市のまちづくりについて

**議員** 新庁舎建設に関連して、庁舎移転後の跡地利用や空洞化している周辺地区の整備をどうするのか。

**市長** まちづくり3法は中心市街地活性化が主眼と聞いているが、いまだ内容が不透明である。国の動向を見て、今年度中に策定する総合計画や都市計画マスタープラン等をもとに総合的に検討していく。

### ■防災体制について

**議員** 昨年末の豪雪などの防災体制は、縦割り行政の弊害が生じていて区長会や自治振興会などの連携がとれていない。連携強化するためどう対応するのか。

**市長** 区長会は行政管理課が、自治振興会は市民活動推進課が担当し、両課で連携を取って進めている。各地区においても自治基本条例や地域自治振興条例に基づき、区長会、自治振興会がより連携を深め、より良い地域自治活動を推進していただくとともに、市としても、全庁体制で市民自治活動を支援していきたい。

### ■企業誘致について

**議員** 今回県内有数の企業立地促進補助制度を創設し、問い合わせもあると聞かすが、実際に誘致され、雇用の拡大へつながる見込みは、どうか。

**市長** 去る2月には1社と立地協定を結び、他数社とも協議中である。雇用の増加等の直接的効果や新規事業の創出等の効果が期待される。

### ■児童館の受け入れ体制について

**議員** 児童館の小学3年生までの受け入れ対象を4年生以上も対象とすべきでないか。また最近の治安情勢から、下校時の来館は認められないか。

**教育長** 受け入れ対象学年の拡大は、各児童館ごとの施設の規模や受け入れ体制、家庭の状況を踏まえて対応したい。下校時の来館については、安全確認ができるよう、保護者の管理の下で利用してほしい。

### ■民間委託の基本姿勢について

**議員** 越前市は行財政構造改革プログラムの策定を進め、いち早く指定管理者制度への移行、自治振興会の立ち上げなど権限委譲を進めているが、ガス事業の民営化などスムーズな民間委託がされたとは言えない。民間委託の審査会構成や選択基準など基本的な姿勢はどうなっているのか。

**市長** 民間委譲や指定管理者制度による業者選定等を行う審査会、選定会議の委員については、付議する事案に必要とされる豊富な経験、専門的な知識、多角的な視点などを有し、公正、公平な視点で判断していただける方を選任している。

### ■農業振興について

**議員** 平成19年から導入される国の経営所得安定対策大綱では、国から支援を受けるには認定農業者に農地を貸すか、集落営農組織に加入するかが条件になるが、市としての支援策は。

**市長** 集落経営体などの担い手の育成については、市単独の水田農業構造改革推進事業などにより進めてきたが、経営所得安定対策大綱の中で影響の大きい大麦については関係団体と一体となり全市で対象となるよう取り組みを進めている。今後は大麦だけでなく売れる米づくりを目指した集落経営体の育成、拡充に取り組んでいく。

### ■(仮称)中央幼稚園建設計画について

**議員** この計画は、幼稚園教育検討委員会の中で東・南・西幼稚園を統合させることで、設置場所、バスによる通園など論議し、18年度建設、19年度開園予定で答申がされたが、なぜ遅れたのか。

**教育長** 合併協定に基づき北新庄小学校と南中山小学校の校舍改築を優先したため、財政事情が厳しくなり遅れた。検討委員会の報告を尊重し、総合計画の中に位置づけていきたい。



◀ 統合が求められている東・南・西幼稚園(写真は西幼稚園)

■市財政計画について

**議員** 国の三位一体の改革で、補助金の削減、税源移譲、地方交付税の見直しが進む中、越前市において現実にどれだけ削減されるのか、中期財政計画を含めて示せ。また、その対策は。

**市長** 影響額は、前年度との比較で4億6000万円余りが減額になると試算している。今後、人件費の削減や補助金の整理統合、事務事業の見直しなど、財政状況を勘案しながら事業の実施時期や規模を選択し、新市のまちづくりを進めていく。

■森林事業について

**議員** 平成8年に自然と人との共存をテーマに完成したエコビレッジハツ杉千年の森が、今回の豪雪では除雪が追いつかず、一時閉鎖が検討されたり、木工棟のソーラーシステムが被害を受けたが、施設の復旧対策と、今後の管理運営の方針は。

**市長** ハツ杉森林学習センターの被害を受けたソーラー発電用パネルについては、損害保険に加入をしているので給付内容を勘案して対応する。なお、運営については、本年4月から指定管理者に委託する。

■地域防災計画について

**議員** さきの福井豪雨、台風23号による集中豪雨などの災害を教訓に、風水害、土砂災害、雪害予防等を網羅した越前市地域防災計画策定が急務であるが、これらの災害発生可能性を把握する調査と市民への周知が不可欠である。市長の考えは。

**市長** 災害発生危険箇所の把握は、地域防災計画の作成において欠くことのできない重要な課題で、土砂災害防止法に基づき、土砂崩れ、地すべり区域の調査を行い、この結果について県と市で住民説明を行っている。さらに、この結果を本年度から実施しているハザードマップ作成にも反映したい。

■職員の育成について

**議員** 人材育成の視点から、職員の資質、能力向上のための研修や派遣、各種資格取得の支援など、職員の活力、意欲をかき立てる効用策は考えているか。

**市長** 近年の多様化、高度化する住民ニーズに対応するため、やる気の出る職場づくりを目指し、職員元氣プログラムをこのほど策定したので、それをベースに新人材育成計画を新年度に策定し、職員の資質、能力向上に努める。

■遊休地の処分について

**議員** 市には塩漬けされた土地や構造物があると思われる。特に土地開発公社所有の資産は60数億円ともいわれているが、財政の健全化のためにもこの遊休地の処分に努めるべきだが、市長の所見は。

**市長** 土地開発公社所有の未利用地については、公募により売却を図っており、平成17年度では5宅地、2246㎡、7031万円を売却した。今後とも利用目的を勘案しながら早期処分を図るとともに、有効利用を図っていく。

■既存事業と自治振興事業の扱いについて

**議員** 旧今立町内には昔からの伝統行事があり、現在まで受け継がれているが、これまでの補助金体制から自治振興事業に移行しようとしている。しかし、予算の関係で事業が縮小され、取り止めも考えられる。そこで、特筆すべき事業に対して認証制度を創設し、別枠での支援をすることはできないか。

**市長** 新年度の地域自治振興事業交付金には、新たに特別事業枠を加え、地域自治のさらなる意欲を喚起していくことを考えている。さらに地域振興事業とは別に、文化振興事業や観光事業等については別枠で補助制度を設けているので、こういった制度を活用してほしい。



◀ 記憶に新しい福井豪雨  
(平成16年7月の服間地区での水害)



◀ 宅地として売出し中の公社所有地  
(四郎丸町地係)



窓口サービス向上のための改善を▶

■窓口サービスの改善について

**議員** 窓口のワンストップサービスに向けての取り組みは承知しているが、今後のさらなるサービス向上について市長の考えは。接遇向上に向け市職員が作成した窓口改革、CSマニュアル、接遇マニュアルは十分に活用されているのか。効果はどうか。

**市長** 市民の利便性に配慮するため窓口担当課を1階に集中配置したほか、フロアマネージャーを配置し、来庁者への窓口誘導などワンストップサービスを図っている。今後も窓口の充実を図り、市民サービスの向上に努める。マニュアルについては、職員がいつでも見られる環境にあり、これを活用し、さらなる接遇向上に努めていく。

■コンビニ収納について

**議員** ガス・水道料金や税金をコンビニで納めることができるようになれば、夜間や休日にも利用ができ、サービスの向上とあわせて収納率も上がるのではないか。

**市長** 丹南広域組合において新年度からコンビニ収納などのマルチ化事業がスタートすることにあわせて、本市でもコンビニ収納を、本年11月から上下水道料金について、平成19年度から市税について実施する。

■IT教育の現状について

**議員** IT教育の推進について、市の現状と、今後どのような計画性を持って小・中学生のIT教育を考えているのか。

**教育長** 小中学校とも児童生徒が1人1台使用できるコンピューター室を整備しており、他市と比較しても十分な環境と考えるが、当面の整備については、普通教室でITを利用できる機器及び校内LAN環境の整備、導入後耐用年数を経過しつつある小学校コンピューター室の機器の変更、IT授業サポートの派遣等について計画的な整備を進めていく。

■パーク・アンド・ライドについて

**議員** 市長のマニフェストに、福井鉄道福武線のパーク・アンド・ライド駐車場整備がある。近くに武生駅北パーキングがあるにもかかわらず、その必要性や利便性の検討がされないまま、新規事業として打ち出されているが、その計画を具体的に示せ。

**市長** 福井鉄道が国の補助を受けるために策定した福井鉄道再生計画の中で西武生駅の駐車場整備を計画しており、市としても公共交通の確保と環境への配慮の面から支援をしたい。

■介護保険制度について

**議員** 昨年10月の介護保険制度の改正で、要支援、要介護度の軽度者に対する新しいサービスが導入されることとなった。そのために地域包括支援センターの整備が求められており、そこには医療知識の高い社会福祉士又は主任マネージャーを配置するべきと考えるが、市長の見解は。

**市長** 地域包括支援センターの体制については、市役所内に直営で実施する。職員には社会福祉士、保健士、主任ケアマネージャーを配置して業務を行う。

■農地、水、環境保全向上対策について

**議員** 越前市には中山間地と呼ばれるところが多く、耕作放棄地が存在している。また、里地里山保全再生モデルに指定された旧武生市西部地区や、トミヨの生息地として知られ、湧水地がある味真野地区でこの制度をどのように活用するのか。

**市長** 農地、水、環境保全向上対策については、農地や農業用水など農業地域の多面的機能を守っていく共同活動を支援する制度であり、中山間地域直接支払制度との整合性をとりながら進める。里地里山保全再生については、国が地域戦略プランを作成中であり、今後も整備を進めたい。



◀ 地域包括支援センター(市役所本庁舎1階)

# 一般質問



### (※)用語の説明

ICタグ（アイシー タグ）1ミリ以下の微小集積回路にアンテナを組み合わせた電子荷札。ICタグを埋め込んだラベルを図書に張ることで、不正持ち出しが防止できる。将来的には貸し出しなど図書管理に活かされる。（写真は、ICタグを埋め込んだバーコード・ラベル）

## 現地現場主義と行財政改革について

新世紀 伊藤 藤夫

**Q** 市が巨額の分担金を支出している南越清掃組合において、業者主導による施設の整備修繕計画と予算計上の実態がある。適切な競争原理が働いていないのではないかと懸念している。適切な競争原理が働いていないのではないかと懸念している。

**A** 施設の維持管理面を随意契約でやりがちであるが、これを改めて複数の業者による競争性を働かせていきたい。事前に複数業者から見積りをとり、その最低価格を適正価格として入札を行う「仮想入札」を採用できないか。

**Q** 予算要求前に複数業者から見積りをとるようにはならないか。

**A** 市ではISOの取り組みを推進しているが、清掃組合ではその取り組みも、コスト削減の計画もしていない。市の指導が必要ではないか。

**Q** 今後対応する。組合としてのコスト削減計画をつくる。

**A** これからは職員の力量が問われる時代であり、「現地現場主義」は、予算や行政運営の中身にしっかりと反映させるべきではないか。

**Q** 全職員にこの考え方を徹底させるとともに、適正配置と資質向上に努めていきたい。

**A** 底上げと資質向上に努めていきたい。

## 教育施設の整備について

諸派 金子 芳巧

**Q** 南中山小学校が改築されるが、服間小学校との統廃合問題はどうか。

**A** 旧今立町で、それぞれ存続することで決定している。行松町の武生体育センターは、体操専用の練習場なのか。他の住民も利用できるか。

**Q** 新図書館建設に際し、旧図書館が4月1日からの4ヶ月間の休館期間は長すぎるのではないかと懸念している。

**A** 充実した新図書館となるよう、ICタグの導入や電算システムの統合など、事務的手続き上必要である。その間キッズ図書館で雑誌、新聞等を閲覧できるようにして利便性を図っていく。

**Q** 今回の大雪を教訓に、安全で安心なまちづくりを進めていく上で、自治振興会と連携して地域の力を活用すべきではないか。

**A** まちづくりには地域住民との協働が重要であり、自治振興事業の強化と地域力の向上に取り組んでいきたい。

## 人命を守る安全網の確立について

諸派・公明党 関 正美

**Q** 国民健康保険税の滞納により、保険証がもらえずに、医者にかかれずに死亡したという全国の記事が出ていた。こういうことを起こさないための越前市での体制は、命は大切であり、その命は大切にしたい。

**A** ようなことが起こらないように、緊急の場合は、とにかく医療機関へ行ってほしい。その後、相談に応じ、個々の実情に合わせた対応をしていく。

**Q** 高齢者への虐待によって悲惨な事件が発生している。越前市での実態や対応は、

**A** 高齢者虐待の相談は、17年度で約40件ある。関係機関との情報共有の中でその実態を把握し、対応や未然防止対策を講じている。4月からの相談窓口は、地域包括支援センターに置く。

**Q** 2007年問題といわれる団塊の世代の退職後の活用策、支援策についてはどうなっているのか。

**A** 豊かな経験や意欲を引き継ぎ地域自治振興事業やNPO活動などに活かして、社会のために活躍していただけるように支援をしていきたい。

## 市道の消雪、除雪について

今和会 前田 一博

**Q** 旧今立町では、主として流雪溝による消雪を進めてきているが、自治振興事業で対応することになる狭隘道路も含めて、武生地区と同様に融雪、除雪対策をしっかりと取り組むべきではないか。

**A** 旧武生市で策定した平成20年度までの道路無雪化事業整備計画に基づいて事業を進めているが、この合併を機に越前市としての見直し作業を進める中で、水量や整備手法の検討をしていきたい。また、狭隘道路の除雪方法も実態に合うよう考えていく。

**Q** 電源三法交付金に基づく補助制度は今立地区も対象とならないか。

**A** 対象地域の拡大を、国・県に対して強く要望していく。

**Q** 戸口トンネルの見直しを立てることが、三里山トンネルの事業推進につながっていくと思うが、その進捗状況はどうなっているのか。

**A** まず、戸口トンネルの事業化を急ぎ、次に三里山トンネルの事業推進を図るため、国、県、鯖江市とともに連携し、取り組んでいきたい。

### 国民保護計画と地域防災計画について

諸派 山崎 隆敏

**Q** 国民保護協議会の委員のうち知識、経験を有するものとして、人権保護の観点から弁護士、人権グループや労働者の代表者等を入れる考えは。

**A** 国民保護協議会は約30人で構成する予定であり、防災会議のメンバーに準ずる形で現在考えている。公募等による委員は予定していない。

**Q** 国の地震調査研究本部が活断層の評価を見直したが、これに伴い本市の地域防災計画を修正すべきでないか。

**A** 昨年見直した地域防災計画に、旧武生市分は盛り込んであるが、旧今立町分の見直しがされていないので、再度見直しをかけた。

**Q** 地域防災計画には、女性の視点も取り入れるべきではないか。

**A** 18年度に再度見直しを行うが、その際には、避難所の運営、備蓄品等のあり方なども含めて女性の視点、考えも取り入れていきたい。

**Q** 災害時の要援護者への支援体制はどうなっているか。

**A** 避難支援プラン作成に向けて実態調査を行い、福祉マップの作成に取り組んでいる。

### 市民の声を反映させた夏まつりを

諸派 題佛 巨一

**Q** 保護者を対象にした緊急連絡一斉メールは、全地区の交通指導員、区長、自治振興会にも送信すべきでないか。

**A** 関係機関に対しても早急に整備していきたい。

**Q** 「こども110番の家」の見直しについての考えは。

**A** 各地域の関係機関と連携して早急に見直していきたい。

**Q** 湯楽里の当初の目的である市民の交流拠点施設としての機能が指定管理者へ移行しても果たされるのか。

**A** 指定管理者募集要項において施設の設置目的に沿った事業展開をしていくことを条件として募集している。

**Q** 夏まつりの日程が3日間から2日間になると聞くが、参加者である市民や自治振興会には伝わっていない。実行委員会に、自治振興会や市民団体をいれるなりして進めていくべきでないか。

**A** 今年は8月14日をOMO USS Eまつりとふるさと踊り、15日を今立地区でのイベントと花火大会で論議している。旧武生・旧今立の融和を図る祭りにしていきたい。

### 伝統産業を活かしたまちづくりを

越前クラブ 山部 忠宏

**Q** 市の東部エリアは、全国に誇れる歴史、自然、伝統産業の財産が豊富な地区である。この観光資源をどう活かし、活性化につなげていくのか。

**A** 継体天皇ゆかりの伝承が集積しており、来年の即位1500年祭に向け、県と連携して盛り上げたい。観光パンフレットも作成していく。

**Q** 観光振興プラン策定に当たつての観点は何か。

**A** 18年度に策定する観光振興プランでは、個々の観光資源の魅力アップと連携を図り、相乗効果を発揮させたい。

**Q** 越前和紙の里をもっと強くアピールすべきでないか。和紙まつりを市のイベントとして力を入れてほしい。

**A** ゴールデンウィーク期間中は、式部とふじまつり、万葉まつりのほかに、鯖江のつじまつり、漆器まつりなども連携してスタンブラリーも企画している。

**Q** 伝統産業を活かしたまちづくりをどう進めていくのか。

**A** 新たに策定する総合計画や都市計画マスタープランの中で検討していく。

### 狭隘道路の除雪の充実を

諸派・公明党 関 利英子

**Q** 民家が密集した狭隘道路の除排雪用に小型除雪機械を市で2台程度購入し、きめ細かな道路の除雪ができないか。

**A** 狭隘道路用除雪機の購入は考えていない。市が除雪の基準としているのは市道であり、狭隘道路の除雪については自治振興会や地域の力で対応して欲しい。ただ、今年の教訓から見直すべきところは地域と協議をし、詰めていく。

**Q** 小学校の英語教育を推進すべきだが、その指導体制は。

**A** 市全体で体系的に取り組む。18年度は後半に指導者1人を確保し、5・6年生で始める。その後さらにもう一人ALTを雇用し3・4年生にも行っていく。

**Q** 越前市の市の木、市の花をどのような方法で選定するのか。また、市の鳥をコウノトリにできないか。

**A** 市の木や花は市民憲章に盛り込むべきもので、市民憲章制定の検討委員会で原案を作成してもらい取り組んでいきたい。コウノトリについては、飛来をした段階で検討していきたい。

### 市として特色ある教育方針を

フロンティア21 宮本 義利

**Q** 大幅な教育改革の答申の中で、市としての特色ある教育方針を示すべきでないか。

**A** 今はまず、ゆとり教育の大事などところである生きる力をつけ、自立心豊かな人間を育てることを大事にしたい。

**Q** 学校間の競争や評価、学校選択性の導入に向けた学区の弾力化、小中一貫校の対応、教師の資質についての適正評価など、時代に即した制度を構築すべきでないか。

**A** それぞれ特色ある学校づくりに取り組んでおり、県の機関で学力調査も行われている。学校区については児童の個別的な事情に対応しており、機能していると思う。中高一貫は県では試行している。教師の勤務評定も行っている。

**Q** 市職員の給与は、その能力や勤務評価に基づいたものとし、定数削減に当たっても事業や組織全体の見直しの中で慎重に定めるべきでは。

**A** 給与は年功序列型から貢献度重視型へと改正が行われる。市でも今年から管理職への昇任試験や、相互評価などにも取り組み、改革を進める。

### 中心市街地の活性化を

未来 中西 眞三

**Q** 新庁舎の郊外移転は、改正中心市街地活性化法に背くのではないかと。まちづくり3法の改正に伴った中心地のにぎわいづくりの方策は、

**A** 新庁舎建設については、合併時の新市建設計画を踏まえた総合計画、都市計画マスタープラン、市街地活性化プラン等の中で方向性を示すことが大事であると考えます。また、既にまちづくり3法の改正を視野に入れた中心市街地活性化チームを設置しており、国の診断の結果をもとにプランづくりを進めていきたい。

**Q** 障害者自立支援法実施に伴い負担がふえることについて、市独自の負担軽減対応は、

**A** 現時点においては制度に基づき始めるが、今後生じる事態にに応じて検討していきたい。

**Q** JRの直流化を武生駅まで延伸し、京阪神からの集客を。

**A** 多額の経費が要する。区間延伸を考えると、福井駅までならんだ計画であるべきと考えるので、県とともに研究すべき課題と考える。

### 農家のための市農政の転換を

諸派・共産党 玉村 正夫

**Q** 19年度から実施される品目横断的経営安定対策に対する市の対応は、

**A** 本市のような水田農業に特化している地域では、国の政策に対応していかねばならない。集落型経営体の育成確立と組織づくり、経営の指導等の課題、また、対策の対象外となる農家の営農の維持も含め進めていきたい。

**Q** 少人数学級の教育成果は大きいですが、市独自の

**A** 市長も積極的に県と折衝しているが、国の職員の加配制度の絡みもあり、学校の実情を把握しながらサポーターという形で考えている。

**Q** スクールランチに地元産物の導入を。

**A** 今年度策定された食育推進計画に基づいて進めていきたい。

**Q** 本年の豪雪による農業の財政支援は、

**A** 県においても支援事業の補正予算を行うこととなり、本市としても県の事業に合わせ支援を行っていきたい。

### 水道料金免除の法制度の確立を

諸派 安立 里美

**Q** 生活困窮者への水道料金未払いに対する給水停止処分について、水は直接命につながるライフラインである。福祉減免制度等の救済制度をつくるべき。

**A** 生活保護制度の中で支える必要があり、水道関係と福祉関係で十分な連携を取るとともに、関係者の協力により見守り活動を行い、課題があれば見直すことも重要である。

**Q** 口利き記録制度について、口利きの対象となる

**A** 適正な判断をするため、口利きの記録等の取扱要綱Q&Aを職員全員に周知した。

**Q** 新図書館は、児童図書を充実するようだが、遠方の

**A** 移動図書館を、また、書籍の学校間ローテーション（持ち回り）制度を導入してはどうか。当面は、図書を必要な分だけ、学校へ配送する現在の方法でやっていきたい。ローテーション制度については、学校と相談して検討する。

### 市民生活に目を向けた施策を

諸派・共産党 前田 修治

**Q** 国保税の値上げについて、サービスは高い方に、負担は低い方という合併時の理念から逸脱しているのではないかと。

**A** 18年度の国からの地方交付税が少なく、当初作成した新市建設計画の財政計画を大きく見直さなければならぬ状況になった。保険事業の健全財政運営が図れるよう、中・長期的視点から独立採算性の税率改正を提案した。

**Q** 国保税を払えない市民に対し、資格証明書を発行するのは生存権を脅かすことにならないか。

**A** 国保は相互扶助により成り立つ制度であり、負担することが基本である。資格証は、連絡のとれない滞納者に対し発行している。相談を受ければ前向きな対応に努めている。

**Q** 介護保険料の値上げ防止のために、一般会計繰入金を含めた努力をすべきでは、

**A** 介護保険料については、能力を収入のみで判断しての一律減免、減免分の一般財源からの補てんは出来ないという3原則があるので、理解してほしい。

### 積極的な財政構造改革を

越前クラブ 伊藤 康司

**Q** 職員の削減計画について、臨時職員との整理合理化を早めるべき。

**A** 関係各課との協議を終え、18年度からは臨時嘱託職員を削減する方向で取り組んでいる。

**Q** 市所有の未利用地の利活用について情報公開やアイデア募集を。

**A** 普通財産等の未使用地については、民間企業に有料貸し付けを行っており、売却が望ましいものは処分していく。

**Q** 県下広域的な組織づくりで、市税滞納金の早急な回収策を。

**A** 10月に33班体制を編成し、夜間徴収、電話相談、夜間の相談窓口開設などをして、納税しやすい工夫に取り組んでいる。また、納税意識が高まるような方策を県下広域的に取り組むよう県にも強く要望していきたい。

**Q** 行財政改革の進行管理のチェック機能を。

### 農業振興、 森林整備について

越前クラブ 山田 芳則

**Q** 農業の担い手育成に対する具体的な取組み、支援計画は。

**A** 昨年設置した越前市担い手育成総合支援協議会の中で、今後の支援策を考えたい。

**Q** 中山間地の鳥獣対策支援は。

**A** 県の事業を活用しながら未整備の地区について対応を行っていききたい。

**Q** 市単独の農業関連補助金について今立地区への支援を継続できないか。

**A** 今立地区について、18年度は現行どおりとするが、19年度以降は国の方針に対応できるように見直す。

**Q** 作業路、再生植林等、森林づくりについての計画は。

**A** 越前市森林整備計画を策定したので、この計画をもとに森林事業を進めていく。

**Q** 県産材利用拡大計画は。

**A** 県産材の活用は、市役所や公共施設での利用拡大に取り組んでいる。

**Q** 豪雪による折損木の被害対策は。

**A** 現在、県で被害状況調査を行っており、国や県の事業を活用して対応していききたい。

### 本市の農業をどう 守るか

新世紀 西野 与五郎

**Q** 農業に関する国の一大転換策に対する考えは。

**A** 売れる米づくりと大麦の本作化を柱とした集落型経営体の育成、確立を進めていきたい。

**Q** 若い担い手の育成支援策や活動拠点の設置に対する取組みは。

**A** 県と連携し新規就農者に奨励金を出す事業等育成支援を行っている。越前市担い手育成総合支援協議会において今後5カ年間の活動方針を定めたアクションプログラム実行計画を作成する中で農業関係団体等と一緒に支援策を策定していききたい。

**Q** 集落経営体の必要性やメリットを理解してもらったものの取り組みが足りないのでは。

**A** 地区単位で集落営農推進員を配置し、地元の方々と話をしていきたい。

**Q** 有機農業や土づくり対策は考えているのか。

**A** もみ殻堆肥施設、畜産農家の堆肥施設整備支援等を行ってきたが、今後も土づくりの重要性を訴え、支援を進めていく。

### 除雪について

未来 椿原 恵

**Q** 今立地区における市道及び狭隘道路の融雪整備は1%に満たない状況だが、武生地区と同様に融雪対策に取り組むべきでないか。

**A** 主に、旧今立は融雪溝を、旧武生では消雪整備を実施してきたため手法が違っていたが、今後、地形や地域の実情に応じた整備の手法を検討し、計画作りを進めていきたい。

**Q** 地域自治振興の組織づくりが進められているが、今後の除雪に関する説明はされるのか。

**A** 準備委員会の中でも除雪については話をしてきた。18年度に向けては、交付基準や路線の認定方法も含め、今後の方策を考えていきたい。

**Q** 除雪ボランティアのよくな組織が越前市ではできているのか。

**A** 市では把握していないが、地域自治振興会の皆様が自主的に地域の除雪を行う動きは広がっているようである。

**Q** 県道の融雪の設備について、市から要望する考えは。

**A** 水量等の問題もあり、県の方へ協議させていた

だけ。

### 教育行政について

新世紀 福田 修治

**Q** 2002年新指導要領に基づいて進められてきた教育をどう評価しているのか。

**A** 詰め込み教育、知育偏重の教育から、生きる力を大事にする教育が進められ、思考力、表現力、判断力といった総合的な力がつき、成果は上がっている」と認識している。

**Q** 英語力は大切だが、まず、しっかりとした日本語を話せる教育と、あいさつのできる指導が大切ではないか。

**A** 国語力は大事なことで、あいさつについては、地域、家庭、学校等全体で指導していくべき大きな問題である。

**Q** 地元の公民館を使って合宿通学ができないか。

**A** 現在、青年の家などで合宿通学が行なわれているが、今後の公民館の利用についてはこれまでの反省や成果を踏まえて考えていきたい。

**Q** 小中学校の木製の机とすに不満が出ているのではないか。今後の修繕や対応は。

**A** 木製の机といすは木の温もりや机が大きく変わったなどの成果はある。修繕は大量になれば改めて検討したい。

### 財政面について

未来 城戸 茂夫

**Q** 今後3年で約20億円の財政調整基金は確保できるのか。

**A** 21年度末に9億円の基金残高を確保することと、20億円の財政赤字を解消することを可能にするために、今、行財政構造改革プログラムを作成している。

**Q** 税収や地方交付税の一般財源が伸び悩む中、新年度の大規模事業の財源の捻出方法は。また、これまでの事業で廃止したものや縮小したものはあるか。

**A** 新規事業については、できるだけ事業を整理し、国や県の補助事業、合併特別債及び県の特別交付金を活用していく。縮小した事業については、新図書館と、土木費などがある。

**Q** まちづくり基金を3年で17億円ほど積み立てるが、その使用目的は。

**A** 今後策定する総合計画の中で、具体的な事業方針をかためる。基金の目的に従い、貴重な財源の有効利用を図っていききたい。

### 平成18年3月定例会の審議議案

◎満場一致可決 ○賛成多数可決 △継続審査

#### 《予 算》

- 平成18年度越前市一般会計予算
- ◎平成18年度越前市簡易水道事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市土地区画整理事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市下水道特別会計予算
- 平成18年度越前市国民健康保険特別会計予算
- ◎平成18年度越前市霊園事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市老人保健特別会計予算
- ◎平成18年度越前市駐車場特別会計予算
- ◎平成18年度越前市農業集落排水事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市林業集落排水事業特別会計予算
- 平成18年度越前市介護保険特別会計予算
- ◎平成18年度越前市今立西部工業団地事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市障害区分認定審査会事業特別会計予算
- ◎平成18年度越前市水道事業会計予算
- 平成18年度越前市ガス事業会計予算
- ◎平成18年度越前市工業用水道事業会計予算
- ◎平成17年度越前市一般会計補正予算（第2号）
- ◎平成17年度越前市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市下水道特別会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市水道事業会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市ガス事業会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- ◎平成17年度越前市一般会計補正予算（第3号）

#### 《決 算》

- 平成17年度武生市・今立町各会計決算認定22案

#### 《条 例》

- ◎越前市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について
- ◎越前市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について
- 越前市職員の給与に関する条例の一部改正について
- 越前市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
- 越前市国民健康保険税条例の制定について
- 越前市国民保護協議会条例の制定について
- 越前市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について
- 越前市介護保険条例の制定について
- ◎越前市特別会計条例の一部改正について
- ◎越前市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について
- ◎越前市越前の里味真野苑設置及び管理条例の一部改正について
- ◎越前市営農飲雑用水施設整備事業経費賦課徴収条例の一部改正について
- ◎越前市営住宅条例の一部改正について
- 越前市幼稚園入園料保育料徴収条例の一部改正について
- ◎越前市今立体育センター設置及び管理条例の一部改正について
- ◎越前市立図書館設置及び管理条例の一部改正について
- 越前市ガス事業、水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正等について
- ◎議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正について

#### 《一般議案》

- ◎しきぶ温泉湯楽里の指定管理者の指定について
- ◎越前市中山間地域農村活性化拠点施設の指定管理者の指定について
- ◎越前市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
- ◎越前市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
- ◎越前市ハツ杉森林学習センターの指定管理者の指定について
- ◎越前市文化センターの指定管理者の指定について
- ◎越前市ふるさとギャラリー叔羅の指定管理者の指定について
- ◎越前市今立体育センターの指定管理者の指定について
- ◎丹南地区障害者給付認定審査会の共同設置について
- ◎丹南地区介護認定審査会共同設置規約の一部変更について

#### 《請 願》

- △最低賃金制度の改正を求める請願
- △政府への「アメリカ産牛肉輸入再開の見直しと牛肉の原産国表示を求める意見書提出」を求める請願書

#### 《人 事 案》

- ◎助役の選任につき同意を求めることについて
- ◎固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

## 人 事

▼助役・固定資産評価員の選任に同意

福嶋 祥介（京町三丁目）

4月1日から就任し、助役については通常の呼び名を「副市長」としました。

▼人権擁護委員候補者の推薦に同意

小泉 嘉代子（大虫町）  
桂屋 京子（本町）

## 請 願 審 議

3月定例会では、次の2件の請願を議会運営委員会で審査しました。

最終日の本会議で採決した結果、委員会審査の結果どおり、いずれも閉会中の継続審査となりました。

・最低賃金制度の改正を求める請願  
・政府への「アメリカ産牛肉輸入再開の見直しと牛肉の原産国表示を求める意見書提出」を求める請願書

## 行政視察を実施

4月19日～21日、24日～26日、26日～28日に各常任委員会の行政視察を行いました。視察先と主なテーマは次のとおりです。

### ◆総務委員会

埼玉県草加市  
行政評価システム  
神奈川県藤沢市  
防災GIS等

### ◆教育厚生委員会

岐阜県多治見市  
行財政改革の取り組み  
広島県福山市  
子供の安全対策  
岡山県倉敷市  
放課後サポート事業

### ◆産業経済委員会

鳥取県鳥取市  
介護予防事業  
群馬県桐生市  
地域産業の活性化

### ◆建設委員会

埼玉県狭山市  
企業誘致政策等  
東京都江戸川区  
江戸川伝統工芸産学公  
プロジェクト  
新潟県長岡市  
災害に強い社会基盤の整備  
新潟県妙高市  
合併に伴う新庁舎建設  
長野県長野市  
あんしん歩行空間事業

## 委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

### 総務委員会

■越前市国民健康保険税条例の制定について

合併協議の結果に基づく国保税率の統一という形のことで、税率を引き上げようとする改正は、国保加入世帯の負担増ともなり、合併によるメリットが見えてこない。滞納状況の改善と、特定事業基金を活用していく中で、できる限り安定運営に努めた後、しかるべき時期に提案すべきではないかといただきました。

理事者からは、以前より、赤字運営が続いている国保事業の財政運営の見直しと、また医療給付に係る突発的な事態に備えるべき基金が、ここ数年の取り崩しにより大幅に減少している。基金の一定額を確保しながら、国保事業の健全な運営を図り、今後の急激な税率改正を避けていきた

い、との答弁がなされました。重ねて、委員からは、国民健康保険運営協議会において議論された中期的な財政運営状況を含め、保険給付や健康づくり支援事業のあり方、低所得者世帯への対応、滞納整理の取り組み、また、福祉施策全般にわたる合併のメリットについても、市民の理解が得られるよう十分な説明責任を果たされたい、との要望がなされました。

### 教育厚生委員会

■就学援助事業について

現在、市においても、就学援助を受けている児童・生徒が増加している中、就学援助の対象にならない困窮家庭の実態の把握についてなされているかたいただきました。

理事者からは、年度更新時期に学校から保護者会等を通じて、働きかけを行ったり、関係地区の民生委員からの情報を受け、条件を満たせば、認定支給作業を進めている、との答弁がなされました。さらに、委員からは、これから生活保護や就学援助など、経済的弱者救済のための諸施策とともに、制度上、保障さ

れない弱者に対しては、国の制度との絡みもあるが、市としても、温かい目線に立った行政運営に努め、今日、言われている格差の問題が、さらに広がらないよう、万全の体制確立に向けて、積極的に取り組まされたい、との要望意見が示されました。

### 産業経済委員会

■地域ぐるみ体験交流支援事業について

グリーンツーリズムを推進するには、市独自の特徴ある取り組みを前面に打ち出し、観光マップに、その内容を掲載することなどが必要である。全国に情報を発信し、県内外から多くの方が、この越前市を訪れるような取り組みを図られたい、との要望意見が出されました。

理事者からは、グリーンツーリズムの取り組みは、昨年からは、旧今立町から始めた事業である。現在は今立地区を中心に、大豆やそば、里芋の栽培といった農業体験と農家民宿を実施している。関係者の協力を得ながら集客に努めている。今後は、農業と環境の融合や、伝統産業の体験を

織り込むなど、旅行関連者とも連携して、「自然と農業のふれあい」を新たな観光の視点とした、特徴ある取り組みを行いたい、との方針が示されました。

### 建設委員会

■都市計画マスタープラン等策定事業について

新市建設計画での新庁舎の建設位置は、日野川東部の国道8号沿いとしている。この状況の中、中心市街地活性化のため、政府が検討している大型商業施設などの郊外進出に歯止めを掛けることを目的としたまちづくり3法の見直しの動きがある。その動向を的確に把握すべきでないかと、いただきました。

理事者からは、まちづくり3法の見直しの進捗にあわせ、その趣旨を、新年度に策定予定の「総合計画」や「都市計画マスタープラン」の中に組み込むとともに、これら計画の中で示される新庁舎建設に関しては、計画策定に至るまでの間、議会においても、十分な論議手続きを経たい、との答弁がなされました。

## 6月定例会日程

- ▼5月30日(火)  
本会議(提案理由説明)
- ▼6月1日(木)～5日(月)  
本会議(質疑、委員会付託、一般質問)
- ▼6月6日(火)～7日(水)  
各常任委員会、特別委員会
- ▼6月9日(金)  
本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

### 本会議の様子を

#### 丹南CATVで放映

本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

### 市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は市役所本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

問合先 市議会事務局

☎(22) 3426

12100

市議会だよりは、資源保護のために再生紙を使用しています。資源として活用できますのでリサイクルにご協力ください。